公表資料

２０２４年１２月
京都大学経営管理大学院

京都大学経営管理大学院メールサーバーへの不正アクセスによる被害および個人情報漏洩の可能性について

京都大学経営管理大学院において運用・管理するメールサーバー（@gsm.kyoto-u.ac.jp）が第三者による不正アクセスを受け、サーバーに保管されていたアカウントおよびメールアドレスが窃取された可能性があることが判明いたしました。
関係する皆様に多大なご迷惑をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。
現在の状況と今後の対応につきまして、次のとおりご報告いたします。

１ 経緯

京都大学経営管理大学院において運用するメールサーバーに対し、第三者からの攻撃が行われ、不審なプログラムが実行されていることが、2024 年 6 月 24 日に判明いたしました。直ちに被害拡大の防止措置を行うとともに、情報漏洩などの被害状況を確認すべく、同年 6 月から 9 月にかけて調査を続けてまいりました。
調査の結果、メールサーバーに保管されていた経営管理大学院のメール（@gsm.kyoto-u.ac.jp）で利用していたアカウントとパスワード情報 152 件およびメーリングリストに記載されていた@gsm.kyoto-u.ac.jp 以外のメールアドレスの 114 件が窃取された可能性があることが判明いたしました。

２ 被害状況

窃取された可能性のあるアカウント 152 件は、経営管理大学院で運用していた @gsm.kyoto-u.ac.jp のメールサーバーのアカウントとなります。パスワードファイルに記載のアカウント名（メールアドレス）、暗号化されていたパスワード、氏名（ローマ字）の情報が窃取された可能性があります。
また、@gsm.kyoto-u.ac.jp 以外のメールアドレスの 114 件は、本メールサーバーで運用していたメーリングリストに記載されていたメールアドレスとなります。これらに関しては、全ての方々について、氏名・住所・電話番号・パスワードなどの個人情報は保管されておらず、窃取されていないことを確認しております。
なお、現時点において、不正に得た情報が悪用されたという被害報告はございません。

３ 窃取された可能性のあるアカウントの方々への対応

すでに、アカウント有していた方々に対し、その事実を報告し、パスワードの変更等の処

置依頼を含めた謝罪文を送付しております。また、その他の方々にも、経営管理大学院のWebページを通じて報告をしております。併せて、本件に関する問い合わせ窓口を案内し、個別に対応を行っております。

４　被害の拡大防止および再発防止について

　事態を把握した 2024 年 6 月 24 日中に、メールサーバーの通信の遮断などの対策をいたしました。その後、当該サーバーの運用を停止すると同時に@gsm.kyoto-u.ac.jp メールおよびメーリングリストの運用を終了しました。その結果、経営管理大学院では、教職員については全学の教職員メール（KUMail）での運用となっております。

　現在、継続して原因究明調査を行っております。詳しい原因が判明次第、事態の再発防止と早期発見に向けたさらなる対策を講じてまいります。

＜本件問い合わせ窓口＞

京都大学経営管理大学院　情報セキュリティ技術担当者

メール：045i-security @mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

以 上